

地域人材ネット

海外戦略も視野に入れた産業振興、農商工連携、
人材育成、新規事業創出

小島 慶藏 (こじま けいぞう)

伊藤忠商事株式会社 福井事務所 所長



○ 登録者情報

所在地

福井県福井市

略歴

1974年伊藤忠商事株式会社入社。伊藤忠商事で、日本国内勤務でモノづくり営業、韓国、中国の海外駐在、事業会社経営を経験。2006年4月～2011年3月の5年間、伊藤忠商事より舞鶴市役所に出向、産業振興監で市長に地域活性化の政策提言、及びその政策の実行。2006年～2008年にふるさと財団・地域再生マネージャー。2011年3月舞鶴市市役所の出向から伊藤忠商事に戻る。

2006年～2008年まで、舞鶴市の「地域再生マネージャー」で、2010年より、「地域力創造アドバイザー」です。

2010年には、舞鶴市農業委員会より、「農業者」に認定されています。

地域での人材育成については、2006年より現在まで舞鶴市で、若手経営者の新規事業創出の人材育成の塾を立ち上げていて、現在も「名誉アドバイザー」で参加しています。

○ 海外戦略も視野に入れた産業振興、農商工連携、人材育成、新規事業創出

取組の内容

2006年に舞鶴市内企業の環境プラントなどを中国に初輸出(約30億円)の支援に成功しました。ナマコの国際的な産官学連携を行い、京都の大学に補助金を付けて、人口種苗育成、養殖、乾燥技術確立、海外販路を確保支援して、販路創出まで仕組みを構築した。

2007年は舞鶴国際港の活性化の為に、国際クルーズのシンポジウム開催して国際クルーズ誘致実施しました。

国際航路開設(舞鶴港～中国大連港、舞鶴港～大連港)、及び韓国国際フェリーの初寄港を実現しました。

「観光のイメージ」を大自然を活かした「赤レンガ倉庫と潮風が会う街」に再構築しました。

2008年は舞鶴市内メーカーのライセンス商品のブランド小売店舗を中国のショッピングモールに開設と同商品や日本酒などを初輸出に成功しました。

2009年は農商工連携に取り組み、海外との連携、及び、雇用の創出に取り組み開始しました。「花の国際交流事業」で胡蝶蘭の苗を輸入支援して、温室建設に補助金を出して、苗野販路確保支援を実行した。

2010年度は環境プラントを中国に20億円の輸出成約を行いました。また、竹林整備と竹の産業創出を行いました。

人材育成としては2006年～2010年まで、経営者塾を立ち上げ、主宰して、新規事業のノウハウを伝授して、体験してもらい実績を上げてもらった。

実績

●輸出支援金額：環境プラント、生活関連商品などの輸出成約支援の成功など、50億円以上の輸出入成約の支援を行なっています。

●産官学：従来型の問題点抽出型の「産官学」ではなく、ヒト、モノ、カネの循環を図る「産官学」の研究会を立ち上げ、人材育成、新規事業の創出支援をしています。

工夫した点や苦労した点

日本各市で行われていた産官学の産業振興の取り組みは、海外現地でのビジネス展開、為替知識、リスクの取り方に関して地域の企業経営者に説明して理解を得ることに時間を費やした。

ひとことPR

日本では、珍しく、行政(舞鶴市役所・産業振興監で5年間勤務)と総合商社勤務を経験した。

行政職員の考え方もよく理解できるようになりました。地域再生事業、地域振興事業が地域の内向きの中で行われているところが多く、海外を視野に入れた産業振興、6次産業創出、新規事業創出を支援できる人材育成も含めて行いたい。

大自然が好きで、日本の食料自給率を高めるべく、地域の休耕田を復活させる為に、私自身も2年目から生まれて初めて農業経験(1ヘクタール)を行い、農業委員会から、「農業者」に認定されています。

若手農業者と組み、約10ヘクタールが復活しました。

○ 参考

取組の分類

地域人材ネットでは、登録者の取組を11の政策分野に分類しています(複数の分野に該当するものもあります)。

	1	地域経営改革		7	まちなか再生
	2	地場産品発掘・ブランド化		8	若者自立支援
	3	少子化対策		9	安心・安全なまちづくり
	4	企業立地促進		10	環境保全
	5	定住促進	○	11	その他(海外も視野に入れた産業振興)
○	6	観光振興・交流			

連絡先

メールアドレス	kojima-ke[アットマーク]itochu.co.jp	その他	
---------	-------------------------------	-----	--

※メールを送る際は[アットマーク]を『@』に変えてください。

戻る